

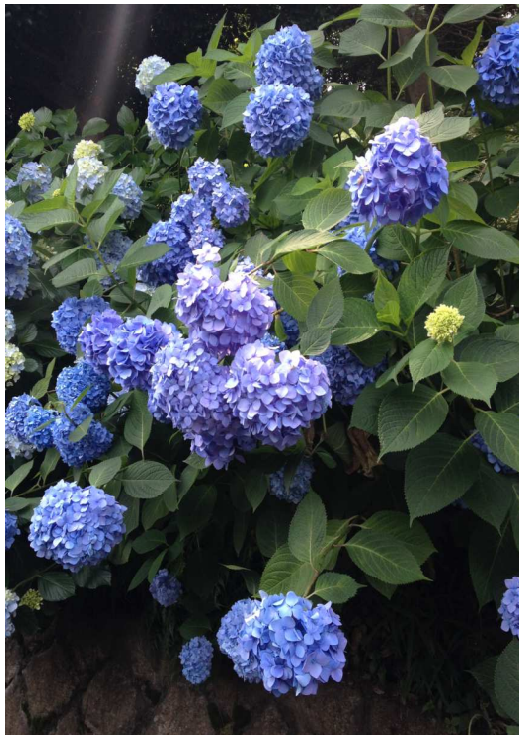
ばいでいあ社会体験学習活動：2018年6月15日

飛鳥の小径：七色の紫陽花を訪ねて！

◆一般には桜の名所として知られているかもしれない飛鳥山。でも、今その山裾を七色のアジサイが彩っています。知る人ぞ知る、実は飛鳥山公園は紫陽花の名所でもあります。梅雨時の今、その飛鳥の小径を歩きます。6月は梅雨の季節、そして本格的な夏への入り口。しばし雨に打たれて煙る紫陽花を眺めるのいいですね。

年々私達日本人の生活から季節感が失われて行きつつあります。であるからこそ、しばし多忙な足を止めて、移り行く季節の彩りや風情を楽しみたいもの。そういう感覚を養い身に付けることは、無味乾燥な知識を蓄える頭脳行為よりもよほど人間的な成長にとって実りあるかもしれませぬ。

◆「よく見ればナズナ花咲く垣根かな」と句を詠んだのはかの松尾芭蕉。ナズナとは紫陽花とは比較にもならぬありふれた春の七草の一つ、いわゆるペンペン草です。だからこそよく見ないと見落としてしまうような変哲のない雑草。でも、よく見たからこそ垣根の陽だまりに可憐に咲いている花にも感動したのですね。まして、今回は季節を彩る紫陽花。「花の色は うつりけりな いたづらに わが身世にふるながめせしまに」（小野小町）を想起させます。本当はこれは桜の花を歌ったものらしいのですが、どうも紫陽花の花にこそ相応しく思えます。



◆2018年6月15日（金）浦和駅改札口集合
1時00分 → 王寺駅下車 → 飛鳥山公園

飛鳥山公園は東京都北区にある区立公園。都内の桜の名所の一つ。江戸享保年間（徳川八代将軍吉宗の頃）に行楽地として整備され、明治6年3月に日本最初の公園の一つに指定されたという。園内には渋沢栄一の旧邸がある。散策時間約2時間。近くには音無親水公園、飛鳥山博物館、渋沢資料館、紙の博物館、名主の滝公園、旧古河庭園（バラの名所）等がある。

◆持ち物：水、筆記用具、デジカメ、常備薬、
◆飴、小腹満たし等持参可。

◆小雨は決行。本降りは延期です